

# 着

【おん】 チャク・ジャク  
 できる・させる・つく・つける

12画  
 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二  
 着 着 着 着 着 着 着 着 着 着 着 着

〔3年〕

【なりたち】 本字は着。常用漢字ではチヨと読むのを著、チヤクと読むのを着とに分けた。羊と目との会意字ではなくて、著の略体が偶然着になった。成り立ちは著の項（八三七ページ）参照。



▼着る。着衣：衣服を着ること。また、着ている衣服。着用：衣服を着ること。【用例】制服を着用する。▼身に着ける。自分のものにする。

▼着る。着衣：衣服を着ること。また、着ている衣服。着用：衣服を着ること。【用例】制服を着用する。▼身に着ける。自分のものにする。

# 着差

# 差

【おん】 サ  
 さす

10画  
 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十  
 差 差 差 差 差 差 差 差 差 差

〔4年〕

【なりたち】 古い字は𠂔、または禾と左との会意形声字だが、今の字は、美の意味の羊と左との会意形声字である。左手で書いた字は右手に比べて、違いがある。「𠂔（差）」という意味を表した字。



▼違い。差異：違い。「差違」とも書く。【用例】差異を認める。差別：違いや区別をつけて取り扱うこと。【例】差別待遇。大差：大きな違い。千差万別：非常に数多くある物が、それぞれ違っている様子。【用例】人の性格は千差万別だ。▼差し引き。開き。隔たり。差額：差し引きした金額。誤差：理論上の数値と、実際に測定した数値との隔たり。時差：経度の違いで生まれる地球上の各地の標準時の差。間違い。▼人を違わす。差遣：官庁から人を派遣すること。さんこう 特別なよみかた↓ 差し支える

# 猿

【おん】 エン  
 さる

13画  
 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三  
 猿 猿 猿 猿 猿 猿 猿 猿 猿 猿 猿 猿 猿

〔3年〕

【なりたち】 本字は猿。手に持つ物を上から引く形を表した愛と、犮（けものへん）との会意形声字。手の使える動物の「猿」を表した字。袁は爰の仮借（か）だが、動物園の園の旁（つ）なので、猿が動物園の人気者だけに面白い。



【いみじゆく】

▼猿。野猿：野生の猿。類人猿：猿のうち、人間に一番近い種類のもの。チンパンジー・ゴリラ・オランウータンなど。猿芝居：①猿を訓練して、人に見せる見せ物。②下手な芝居。③すぐ見破られる下手なたくらみ。猿知恵：一見利口そうで、実際は間が抜けた考え。猿真似（まね）：猿が人のまねをするように、考えもしないで形だけをまねること。犬猿：犬と猿。犬と猿のように仲が悪いことのとどえ。【用例】犬猿の仲。よみかた 猿回し さんこう 猿も木から落ちる Ⅱ その道に通じた専門家でも時には失敗することもある。

# 猿猫

# 猫

【おん】 ビヨウ  
 ねこ

11画  
 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一  
 猫 猫 猫 猫 猫 猫 猫 猫 猫 猫 猫

〔3年〕

【なりたち】 本字は猫。猫の鳴き声を表した苗（中国音ではミヤオ）と身（むじなへん）との形声字。ミヤオと鳴く動物の「猫」を表した字。



【いみじゆく】

▼猫。猫舌：熱い物が口にできない人のこと。猫は決して熱い物を口にしないので。猫背：背中が猫のように丸くなっている人のこと。よみかた 猫足・猫車・猫目 石・愛猫 さんこう 猫被（ねだまり） Ⅱ 本性を隠しておとなしく見せかけること。猫はネズミを捕る時の本性を普段は全く見せない。猫撫（ねだ）で声 Ⅱ 猫がなでられた時に出す声のように、優しく媚（こ）びるような声。猫可愛（ねこが）がり Ⅱ 猫を可愛がるような無分別な可愛がり方をいう。

